

喜楽ローザ店 TV初放映!

十月二十九日(日)テレビせとうち放送の「あっぱれ!岡山市議会」という番組で、共産党の林潤市議が、「いつも食べているランチ」として、中区浜にある「喜楽ローザ店」を取り上げてくださいました。「喜楽ローザ店」は中区榎にある「宅配弁当屋喜楽」のランチが食べられる店舗です。「宅配弁当屋喜楽」は、この夏厨房を改装したため、林道倫精神神経科病院内にある喫茶店に店舗を移転したのです。

初めてのTV放映でみんなはカチコチに緊張。「TVは太く映る!」というブーイングもありましたが・・・アナウンサーの方も「えっ!これでワンコイン!?」と500円(税込)という定食の値段の安さとボリュームに驚きの声。翌日には、「TV観たよ。おいしそうだから食べにきた。」と早速に

来店して下さるお客様も現れました。これからも、地域の皆様に食べに来ていただけるよう頑張っていきたいと思えます。



これがたったの500円! (税込) スープ・サラダ・デザート付

この日のランチメニュー

日替わり5品

- ◇ ランチ
- ◇ クリームシチュー
- ◇ ポテトサラダ
- ◇ つけもの
- ◇ デザート



アナウンサー・林市議とともに

<喜楽ローザ店>

住所：岡山市中区浜472
林精神・神経科病院内1F
営業日：月～金（祝休）
時間：午前11：00～午後2：00
TEL：070-5590-7875
*日替わりランチは限定です

結い後援会への新規加入と継続のお願い

私達は、障害を持って生きて行かなければならない人々へ、温かい行政と財政支援を要求するべく、今後も努力し続けます。しかし、私達の力だけでは微々たるものです。ぜひ「結い」後援会にご加入いただき私達の活動を支援してくださいようよろしくお願いいたします。また、2017年度分の会費未納の方につきましては、継続してご協力いただけますように、何卒よろしくお願いいたします。

<お振込先> 郵便振込口座 01360-0-57757
社会福祉法人「結い」後援会

「結い」だより

第47号 発行
社会福祉法人「結い」
〒703-8255
岡山市中区
東川原1-1
TEL 086-270-5552
FAX 086-270-5554
発行責任者

「にのつぼ事業所」改装工事終了! お披露目会開かれる

中区榎にある就労支援事業所「にのつぼ」では、長年の課題であった「宅配弁当屋喜楽」の改装工事を七月から始め十月末無事終了することができ、十一月五日(日)利用者とそのご家族、理事・評議員の方々を招きお披露目会を開催しました。

効率の良い動線 衛生面への強化を目指して

改装前の厨房は、冷蔵庫や棚が動線を考えずに次々と置かれ、厨房内を斜めに人が動きぶつかりトラブルになる、という問題が多々発生していました。そこで、思い切って建物を改装することにしました。床の色と素材を分け調理と盛付の作業がぶつからないように、明確に区分けを行いました。また、建築法により広げられる作業面積、二・八㎡ギリギリに面積を広げ、今まではなかった洗浄コーナを設け、食器乾燥機を導入しました。これで、洗浄の時間が三分の一に短縮できます。弁当の盛付も今までの倍の一二〇



新しくなった厨房

食を一度に盛り付けることができるようになりました。

さらに衛生面に注意していくために、厨房から外へのドアを直接外気が入らないように風除室を設け、階段を外部に設け新たに二階に玄関を作りました。今までランチを提供してきた店舗は、中区浜にある林道倫精神神経科病院内にある喫茶店に移転し(4面参照)、配達しわけ場所となりました。



新装開店した「宅配弁当屋 喜楽」

一日三〇〇食をめざして!

お披露目会ではたくさんの方にご祝辞を頂戴いたしました。が、ここからが喜楽の勝負どころとなります。現在の一日の食数がだいたい二〇〇食弱。今後は三〇〇食、五〇〇食と増やしていけるように、より一層の頑張りが必要になってきます。皆様にも一層のご協力をいただきながら、さらなる売上増、工賃UPを目指して、これからも努力を重ねてまいります。よろしくお願いいたします。

当日は晴天に恵まれ二十七名に及ぶ参加者となりました。新しい厨房内の見学に始まり、その後二階に場所を移してテーブル、利用者代表による乾杯の後、料理長直々のオードブルをはじめとしたご馳走をいただきました。



A型事業所問題をうけて

7月末には倉敷にある就労継続支援A型事業所「あじさいの輪」―「あじさいの友」が突然廃業。約280人の利用者（障害をもつ労働者）が解雇されました。また名古屋でも69人の障害者が解雇されました。規模の大小はあるものの全国でA型事業所で働いていた利用者の解雇が各地で起きています。

2006年障害者自立支援法が制定され、今まで参入できなかった民間の営利会社でも、障害者を雇用し会社を経営するのならば（就労継続支援A型事業所といいますが、重度の障害者の就労を支援する障害福祉サービス（就労継続支援B型事業所「ワークハウス・わくわく！」のことです。）と同じ報酬（公的資金）が支払われ

るようになりまし。さらにA型事業所は雇用契約が発生します。障害福祉サービスとは別にハローワークから障害者雇用のための補助金が最長3年にわたり240万円が事業所に支給されます。そのため、2010年には全国で約700カ所しかなかったA型事業所は2016年には約3600カ所（約5倍）に増え、岡山県は160カ所と全国で6番目に多く、その運営は営利法人の事業所が50%以上をしめるようになりました。

の利益を社会福祉事業以外の他の事業に投資してもいいのです。

障害のある人の98.9%は年間200万円以下の「ワーキングプア」といわれています。また、2人に1人は相対的貧困とされる112万円を下回っているという調査結果があります。そしてその状況は、当法人の事業所の利用者の現実です。本来A型事業は利益があるのであればその利益は利用者還元されるべきであり、株主に払えるべきではないはず。非営利が原則の事業で、営利企業の事業は成立しません。成り立たない弱者が、犠牲になっているからです。

他の営利企業と同じにするという「イコールフィッティング」の名のもと、社会福祉

法人は職員の退職共済制度への公的助成が廃止され、地域公益活動の責務化等が行われました。反面営利企業には、社会福祉事業への参入を認め公的資金が入れられるようになりまし。公的資金が入れられ福祉サービスと位置づけられる以上、A型事業を運営する企業には社会福祉法人と同様の一定の義務や責務が求められるべきであり、所轄庁にはその指導を求めていきたいと思いま



秋の親睦旅行に行つて来ました！

レオマワールド

利用者の皆さんが楽しみにされている親睦旅行。希望を上げていく中で、希望地が大きく分かれたため、今年は二手に分かれて実施することとなりました。第一弾はレオマワールド、10月15日〜16日の一泊二日で行ってきました。



週間天気予報の通り、あいにくの雨模様となり雨具が手放せない二日間となりましたが、天気には負けていただけません！北海道の幸をはじめ、たくさんの料理にみんな何を食べようか頭を悩ませたバイキング、それぞれが持ち歌を熱唱したカラオケ、卓球で汗を流し、翌日は三班に分かれ元気いっぱい楽しんでました。平日の雨と歩いてきたキャラクターは独り占め！そして最後はお土産やさん巡り。各々の楽しみ方でした。英気を養った二日間でした。最後に、参加された方々の声をご紹介します。

- ・バイキングの刺身がとてもおいしかった。
- ・みんなでカラオケしたのが楽しかった。
- ・はじめてフラダンスのショーを間近で見て、圧倒された。
- ・前回は乗り物に乗るので忙しかった。今回はキャラクターと遊び、買い物を楽しむことができた。雨だったけど楽しめた。
- ・家族旅行とは違う楽しさがあった。



た、みんなで来られたよかった。雨の風景写真というのも味があつてよかった。

- ・お土産を選ぶのにたくさんあつても困ったが、何にしようか迷うのもとても楽しかった。

びんごの旅行

二〇一七年九月二十三日(土)私は、一人で旅行のプランを立てて財

布の中身と相談しながら、京都最北端にある天橋立に車で行ってきました。一泊二日です。

天橋立では気候も良く二・六キロもある松林を歩きましたが、海の香りがよかったです。お決まりの股のぞきポーズで天橋立を見てみたら、晴れた青空はまるで海のように不思議な感覚です。

ご当地で一番美味しかったのは、行き白鳥パーキングエリアで買った赤穂の塩大福を食べました。これを食べると元気が出てきます。僕の好物です。帰りは、龍野西サービスエリアでも買いました。どれだけ好きなんだろく！無事に行つて帰つて来られて良かったです。一人だけ楽しい旅行になり、大きな自信がつけました。

